

だいで 大子

議会だより

大子町公営塾「ことのぼ」
令和5年9月に大子町が開設した
県内初の公営塾です。
受講料は無料で、大子清流高校
の生徒が通っています。

みんなに届け！

1026枚の写真に込めた

私たちの思い！



今回の表紙は大子町公営塾「ことのぼ」の生徒による作品です。

目次

令和5年第4回定例会	2～3
議員報酬検討特別委員会報告	4～5
議員と話そう会	6～8
議員の活動報告します	9～11
議員研修報告	12～13
あん議会の質問は今?!	14
一般質問	15～22
大子町公営塾「ことのぼ」	23
「わくわくわたしの夢」	24

今回の表紙は、大子町公営塾「ことのぼ」の生徒による作品です。

たき丸君がモザイクアートによって見事に表現されています。詳細は23ページをご覧ください。

(広報委員会)

令和5年 第4回定例会

物価高騰対応重点支援地方創生臨時給付金（低所得世帯支援金）の補正予算を可決！

令和5年第4回定例会が、12月6日から13日までの8日間の会期で開催されました。令和5年度大子町一般会計補正予算など町長から提出された議案15件（新規条例2件、一部改正条例6件及び補正予算7件）について、すべての議案が全会一致で原案どおり可決されました。

補正予算の内容については、電気料金や燃料費の高騰に伴う補助金や委託料の不足分、物価高騰の影響を受ける低所得者への経済的支援などがあり、今回の補正額は2億3822万6千円でした。

また、議員の報酬額及び三役（町長、副町長、教育長）の給与を規定している条例がそれぞれ改正され、31年ぶりに報酬等が見直されることになりました。

一般会計補正予算(第7号・第8号)の主なもの

歳入	補正額
国庫支出金	1億8347万7千円
県支出金	248万8千円
寄附金	2000万円
繰入金	3171万9千円

歳出	補正額
物価高騰対応重点支援地方創生臨時給付金（低所得世帯支援分）事業費	1億6998万5千円
ふるさと大子応援寄附金事業費	1076万7千円
大子町営研修センター体育館耐震診断業務委託料	257万円
常陸大子駅前バス待合所等用地購入費	410万円
脳ドック・人間ドック健診補助金	120万円
広域公園管理運営業務委託料	552万円
フォレスパ大子管理運営業務委託料	662万円
グリーンヴィラ管理運営業務委託料	249万円

特別会計等の主な補正額

特別会計等	補正額	補正後の予算額
大子町国民健康保険事業特別会計（第2号）	482万円	24億2843万5千円
大子町介護保険特別会計（第2号）	5525万2千円	27億3755万9千円
大子町介護サービス事業特別会計（第2号）	22万9千円	1271万6千円
大子町浄化槽整備事業特別会計（第2号）※	0円	1億3709万2千円
大子町水道事業会計（第2号）は、債務負担行為について追加1件の補正を行うものです。		

※ 浄化槽維持管理業務委託料を減額し、浄化槽料金収納システム利用環境整備業務委託料を増額するため補正額はゼロです。

第4回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第78号	大子町交流拠点施設の設置及び管理に関する条例	原案可決
議案第79号	大子町浄化槽整備事業に関する条例	原案可決
議案第80号	大子町浄化槽整備事業に地方公営企業法の規定を全部適用することに伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第81号	大子町印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第82号	大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第83号	大子町営研修センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第84号	大子町広域公園多目的温泉プールの管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第85号	令和5年度大子町一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第86号	令和5年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第87号	令和5年度大子町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第88号	令和5年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第89号	令和5年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第90号	令和5年度大子町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第91号	大子町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第92号	令和5年度大子町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議員提出議案第9号	大子町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	閉会中の継続審査の申し出について（文教厚生委員会）	原案決定

議員報酬を見直す条例が 可決されました

■ 議会での可決

第4回定例会において、大子町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（議員提出議案第9号）が可決され、議員の報酬額が令和6年4月から見直しされることになりました。改定額は次のとおりです。

職名	改正後	改正前	引上げ額
議長	350,000円	300,000円	50,000円
副議長	330,000円	270,000円	60,000円
議員	310,000円	250,000円	60,000円

■ 報酬額見直しの背景

今まで議会改革を進めてきた中で、報酬についても検討を重ねてきましたが、見直しには至らず、気がつけば平成4年からずっと報酬額が見直されることはなく、県内で最も低い報酬額でした。

そして、全国的な議員のなり手不足が深刻化していて、定数割れをしている町村もあります。

今年3月の改選を控え、町の将来を託せる議員のなり手を確保するためにも、報酬のあり方を考える必要があるため「議員報酬検討特別委員会」（メンバーは議長を除く12名の議員）を設置して検討してきました。

■ 議員報酬検討特別委員会ではこんなことを調査しました

- (1) 地方議会の課題
- (2) 大子町における議会改革の取組
- (3) 近隣・類似団体等との比較
- (4) 原価方式による比較
- (5) 全国町村の報酬見直し事例
- (6) 報酬減額条例の検討

原価方式とは



議員の報酬額を算定する目安として、町長と議員の活動日数から比率を求めて、町長の給料額に比率を掛けて計算する方法のことです。

(4) 原価方式で具体的に計算してみると・・・

○議員の年間平均活動日数① **140日**〔1日8時間として〕

本会議、委員会、行事、個人での議員活動などをカウントしました。

③議員報酬額：250,000円

④町長給与額：690,000円

○町長の職務遂行日数② **305日**〔年間365日－60日（土日祝祭日）〕

①議員の活動日数 140日

②町長の職務遂行日数 305日

× 100 = ⑤ 45.9%

④町長給与 690,000円 × ⑤45.9%
= 316,710円

これらの計算方法によって適正な報酬額の検証検討を行いました。

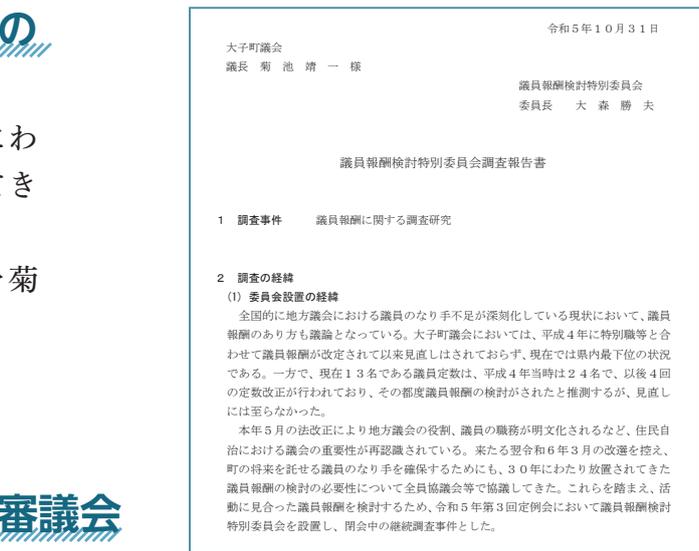
■ 議員報酬検討特別委員会からの調査報告書の提出

議員報酬検討特別委員会では、5回にわたり委員会を開催して調査研究を重ねてきました。

その結果を取りまとめた調査報告書を菊池議長に提出しました。

■ 議長から町長に特別職報酬等審議会への審議申入をしました

議長は議員報酬検討特別委員会からの報告を受けて、議員報酬を引き上げる内容の改正案を町長の諮問機関である「特別職報酬等審議会」で審議してほしい旨の申し入れを行いました。



※一部抜粋



特別職報酬等審議会とは

議員報酬や町長などの給料に関する条例を見直す際に意見を聴く審議会のことです。委員は町内の公共的団体等の代表者や住民の中から必要のたびに町長が委嘱します。

■ 特別職報酬等審議会からの答申

11月28日に大子町特別職報酬等審議会が開催され、12月5日に答申（意見）がありました。その内容は次のとおりです。

議員報酬については、平成4年以降見直しがされていない一方で、議員活動については、社会情勢の変化や議員定数の削減により、その職責と町民からの期待はより大きくなっているものと考えられます。このような状況を踏まえ、令和6年4月から次のとおり改定することが適当であると考えます。（P4上段の表のとおり）

なお、審議において、次の点について意見がありましたことを申し添えます。

①議長、副議長、議員の報酬額の差について、それぞれの職責を考慮したものとするについて、引き続き検討するべきではないかと思慮します。また、報酬額について、定期的な見直しが必要ではないかと思慮します。

②議員活動について、町民がその活動内容を明確かつ容易に知ることができるよう、現在よりも積極的に、より分かりやすく発信されることを希望します。

■ 答申内容を踏まえて

答申を受けてから、第6回目の議員報酬検討特別委員会を開催して、委員全員で答申内容を確認しました。その中で、今後の報酬の定期的な見直しや町民に伝わりやすい議会活動の発信に努めることを再認識しました。

なお、第4回定例会では、「大子町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例」も一部改正され、町長、副町長及び教育長の給料も令和6年4月から見直しされることになりました。

職名	改正後	改正前
町長	77万円	69万円
副町長	60万円	54万円
教育長	55万円	50万円

議員と話そう会

（地域女性団体連絡会編、PTA連絡協議会編）

11月に2つの団体の方々と「議員と話そう会」を実施しました。

22日には「大子町地域女性団体連絡会」の皆さん、25日には「大子町PTA連絡協議会」の皆さんとそれぞれのテーマに沿って意見交換をおこないました。

皆さんから熱い思いをお寄せいただきましたので、今回はその一部をご紹介します。



大子町地域女性団体 連絡会

テーマ

女性目線でのまちづくり

参加者

議員 11名

地女連 20名

大子町PTA連絡 協議会

テーマ

子育て世代からみた
まちづくり

参加者

議員 10名

PTA 14名



■【地域女性団体連絡会】

- まちなかイベントの際の駐車場対策について、既存の広域公園からのシャトルバスは不便という声が多い。
- FMだいがとても良い。毎日台所で聞いている。
- 竹林や支障木の整備を個人するのが難しい。
- 道路沿いの除草をしてほしい。
- 町に対する要望はどの程度しているのかわからない。
- 要望したことがどうなったのか返答もほしい。
- 子どものうちから英語教育を進めてほしい。
- 免許返納が安心してできる整備をしてほしい。
- A I タクシーやみどり号が、身近な場所から簡単に乗れるようにハードルを下げしてほしい。
- 町に働くところがないと言われるが、それより給与水準が問題なのではないか。
- 防犯灯やカーブミラーを設置してほしいところがある。
- 独り暮らしの高齢者への包括支援の取組の拡充。
- 回覧板を回すことが大変になってきている。
- 中学校の統合に向けた廃校の利用について考える必要がある。



■【PTA連絡協議会】



- 読書のまちにしては、図書館や書店がないので地域ごとに図書館の設置を願いたい。
(廃校の利活用として、図書室をイノベーションして活用してはどうか)
- 雨の日に子どもたちが遊べる室内アスレチックを作ってほしい。
- PTA役員のなり手不足解消策について
- 高校に進学した場合の交通費の補助制度について
(他の市町村では補助制度がある)
- 過疎に魅力を感じ、過疎を目指してくる人がいる。
過疎が時には魅力となる。
- 人数が減っているのでPTA活動そのものを見直す事も必要かもしれない。また、責任がある仕事には報酬があるべきだと思うので教育委員会や町に働きかけてほしい。
- 様々な分野で、親も同時に学んでいかなければならないと感じる。
- 各地区でコミュニティの衰退が起きている。中長期的ビジョンを持ってインフラ整備する必要がある。
- 将来的な小学校の統合については、部活動があるわけではないので、ICTを活用して小学校間の横のつながりを作っていけば良いのではないかと思う。

議員と話そう会アンケート集計結果【地女連・高齢者大学・PTA 連協】

それぞれの意見交換終了後にアンケートを実施しました。好意的な意見が多く寄せられ、議員活動についても概ね理解を得られたものと感じています。アンケートの内容を一部掲載します。

○参加者・回答者数（人）

	地女連	高齢者大学	PTA	合計
参加者	20	27	14	61
回答者	17	13	12	42
回収率	85%	48%	86%	69%

○今回のような議員との意見交換会をどう思われますか。

	地女連	高齢者大学	PTA	合計	%
・よかった	13	10	11	34	81%
・どちらともいえない	0	2	1	3	7%
・特に必要を感じない	0	0	0	0	0%
・改善すれば必要	2	0	0	2	5%

○議会活動について理解できましたか。

	地女連	高齢者大学	PTA	合計	%
・理解できた	10	6	7	23	55%
・少し理解できた	5	5	4	14	33%
・理解できなかった	0	0	0	0	0%

○このような議員との意見交換会を続けた方がよいと思いますか。

	地女連	高齢者大学	PTA	合計	%
・はい	17	12	11	40	95%
・いいえ	0	0	0	0	0%

理由

- ◆対面で直接話ができる良い機会だから
- ◆知らないことがわかって勉強になったから
- ◆議員の仕事や考え方がわかったから
- ◆意見を実行できる、できないはあるが、前向きな取組みだと思うから
- ◆町の現状や取組みがわかったから

○感想、意見を聞かせてください。

- ◆議員を身近に感じた。
- ◆「前例がないからできない」はやめてほしい。チャレンジしないとわからない。
- ◆町の将来を考えられるような提案実施に期待する。
- ◆議員と話ず機会がないので面白い試みだと思う。
- ◆美しい太子町になることを期待する。袋田の滝を守ってほしい。
- ◆議員からこれからの太子町の話を知ることができた。
- ◆貴重な機会だった。中学校の統合後について気になっている様子だった。
- ◆今回の話し合いを、今後の太子町のために検討してほしい。

■意見交換会を終えて

今回紹介できたのは、意見交換でできた意見のほんの一部です。紹介できなかった意見についても、議員間でしっかり共有して今後の対応を検討していきたいと思っております。

また、これまでに実施した「高齢者大学」の皆さんの意見も、今回実施した皆さんの意見と合わせて、「町民の皆さんの日頃の願い」というかたちで町長にお届けしたいと思っております。

今回のアンケートの中に「議員を身近に感じた」という感想がありました。私たち議員は、日頃から町民の皆様の身近な存在であることを意識していますので、遠くで願いを叶えてくれる流れ星よりもっと身近に感じてください。

私たちは、常に皆さんの描く理想の実現化に向けた一員でありたいと思っていますので、意見交換会などを希望する団体等がありましたら、ぜひお声掛けください。

議員の活動報告します！

11月、12月、1月は主に次のような議員活動を行いました。

11月	<ul style="list-style-type: none">・第46回全国育樹祭育林交流会〔正副議長・林活議連会長・総務経済副委員長ほか〕・第46回全国育樹祭式典〔正副議長・林活議連会長・総務経済副委員長ほか〕・全国過疎地域連盟第2回総会（東京都日本教育会館）〔議長〕・福島県小野町議会行政視察対応〔議長〕・県北地域高規格道路整備促進期成同盟会（県議会棟）〔議長〕・議員と話そう会（団体：地域女性団体連絡協議会）〔議員〕・議員と話そう会（団体：PTA連絡協議会）〔議員〕・全員協議会〔議員〕・衛生センター建設工事視察〔総務経済委員会ほか〕
12月	<ul style="list-style-type: none">・国道118号袋田バイパス開通式典〔議長・総務経済委員長〕・第4回定例会（6日～13日）・交通事故防止キャンペーン〔議長〕・さはら小学校視察〔文教厚生委員会〕・自衛隊合同研修視察〔議員〕
1月	<ul style="list-style-type: none">・二十歳のつどい〔議員〕・消防出初め式〔議員〕・新春のつどい〔議員〕・第1回臨時会〔議員〕

ピックアップ

■国道118号袋田バイパス開通式典

12月2日、国道118号袋田バイパス開通式典が行われ、大子町議会からは菊池議長と須藤総務経済委員長が代表で出席しました。

国道118号は、地域の産業振興や交流を支えるとともに、災害時には「緊急輸送道路」として役割を担う路線です。袋田から北田気までの区間は、観光シーズンの交通渋滞緩和や災害時の緊急輸送道路ネットワークの強化を図るため、1990年度から延長約3.6kmのバイパス整備が進められてきました

これまでに約2.3km区間が開通していて、今回、久慈川やJ R水郡線をまたぐ橋を含む約1.3km区間が開通して、袋田バイパス全線が開通となりました。



概要

路線名	一般国道118号
延長	3,560 m
幅員	13.0 m / 6.5 m
場所	袋田～北田気
事業年度	1990年度から



■第46回全国育樹祭

11月11日、12日の2日間、国民的な緑の祭典である全国育樹祭が平成元年以来34年ぶりに茨城県で開催されました。

県内各地で併催行事や記念行事が行われ、大子町では育林交流集会在文化福祉会館まいんで開催されました。当日は、議員も林業関係者や森林づくりに参画する企業や団体など幅広い参加者の一員として、出席しました。



育林交流集会であいさつをする高梨町長

■新春のつどいで議会の活動報告を発表

1月17日、大子町新春のつどいが文化福祉会館まいんで開催されました。

これは、大子町と大子町議会の共催による催しで、当日は、叙勲受章者や各地区の区長など大勢の方にご出席いただきました。

議会では、菊池議長が議会を代表してあいさつを述べ、大森議会運営委員長が「議会の活動報告」を発表しました。



新春のつどいであいさつをする菊池議長

■大子町へようこそ！（行政視察）

茨城県外の市町議会から問い合わせいただき行政視察を受け入れました。

当日は、菊池議長や齋藤副議長が大子町議会を代表して歓迎のあいさつを述べました。

11月から1月までに3市町の議会議員の方々に訪問いただきましたのでご紹介します。

福島県矢祭町議会 (総務常任委員会)

7名

【視察概要】

- ・デマンド交通関係



福島県小野町議会 (新庁舎建設等検討特別委員会)

8名

【視察概要】

- ・新庁舎建設



栃木県大田原市議会 (3会派合同)

15名

【視察概要】

- ・給食費無料化



■総務経済委員会からの報告

11月29日、新しく建設した衛生センターを視察してきました。この施設は、令和元年10月の台風第19号によって被災した施設であり、令和3年3月から着工した施設です。令和6年2月からの本格的な運用が見込まれています。施設の概要は次のとおりです。



◆施設の概要◆

【施設名称】 大子町衛生センター

【所在地】 南田気356

【処理対象物】 し尿・浄化槽汚泥

【資源化方式】 堆肥化

【建設費用】 約27億9千万円（※現段階の見込額です）

【建設費用の内訳】 国からの補助など 約23億7900万円

町から支出する額 約4億1100万円

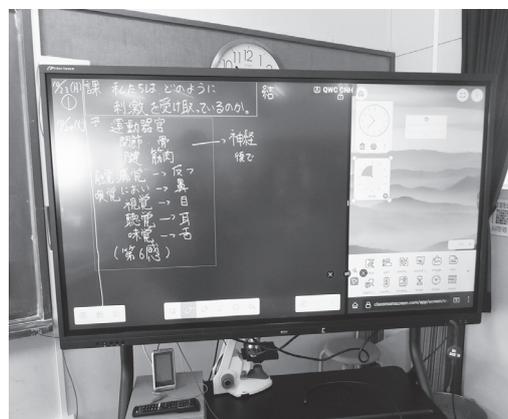


■文教厚生委員会からの報告

10月24日、南中学校の授業風景を参観してきました。

南中学校には、今年度購入した「ミライタッチ」という馴染みのない機材が導入されており、先生の話によると「電子黒板の更なる進化版」ということで、AIによる振返り機能なども付いているとのことでした。

今年度はすべての中学校（4校）に導入されましたが、大子町のICT教育をさらに充実させるためにも、今後は小学校への導入が必要であると感じました。



また12月19日には、さはら小学校を訪問して、「さはらっ子総会」の様子を参観してきました。

さはら小学校では「夢道場（さはらファミリー会社）」という会社を子ども達が運営しており、この日はちょうど総会の日でした。先生の話によると「夢道場」では学校で作った野菜を子ども達自らが道の駅などで販売し、今日はその収益の使い道を1年生から6年生までの児童全員で話し合っ決めていくということでした。

「おもちゃ」「ルンバ（掃除機）」「ベンチ」など欲しいものはバラバラでしたが、1人1人が欲しい理由を

言って、疑問があれば質問をして回答する。そして1つのものをみんなが納得して選ぶ。そういった社会の仕組みを自然に学ぶことができる素晴らしい取組だと思いました。

写真は6年生の皆さんと撮影したものです。

■能登半島地震災害義援金

大子町議会議員会では、令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、石川県に対して災害義援金（10万円）を送りました。

被災された方へのお見舞いを申し上げるとともに、一刻も早い復旧復興を心よりお祈りしています。



■議員研修視察の概要

11月7日・8日に山形県高島町を視察先として常任委員会合同研修視察を実施しました。

今回の研修テーマは「廃校の利活用」ということで、議員10名、町担当課職員1名、事務局職員2名が参加しました。

今回訪れた高島町では、4つの中学校の統合により新校舎建設が計画されたことをきっかけに、廃校となる校舎の活用策を統合前から検討し、「廃校再生プロジェクトNPO法人はじまりの学校」と連携して、平成28年4月に廃校活用プロジェクトを開始しました。近隣住民らの参加もあり地域活性化につながった大人の学校「熱中小学校」や、体育館を活用した屋内遊戯施設「もっくる」、美術室を活用した「コワーキングスペース」を次々とオープンさせました。昨年5月にはグラウンド跡地に「フォーチュンタウン駅西」として49区画の分譲地が販売開始となりました。

大子町でも令和7年度から4中学校が1つに統合され、廃校になる校舎の利活用が課題となることから、先進地の廃校利活用の状況と成果を研修視察してきましたのでご報告します。

【施設の概要】



■熱中小学校（旧時沢小学校）

「もう一度7歳の目で大人が学ぶ」をコンセプトに、NPO法人はじまりの学校が運営する大人の社会塾「熱中小学校」が、平成27年10月に開校。起業家育成を主眼とした多彩な教授の授業による人材育成プログラムで、県内外からも参加がある。座学だけでなく、里山体験や全国姉妹校との交流など活動が拡大している。



■屋内遊技場「もっくる」 （旧第四中学校体育館）

高島産材をふんだんに使用した木育施設。木の香りあふれる温かみのある作りで、子どもの感性や創造性を育む空間が広がっている。子育て支援センターとファミリーサポートセンターが併設されている。

■宅地分譲（旧第四中学校校庭）

高島駅から徒歩10分以内の立地に、フォーチュンタウン駅西として49区画の宅地分譲を令和5年5月に開始した。購入に当たっては、各種助成制度を設けている。



■コワーキングスペース (旧第四中学校校舎2階 美術室)

令和4年4月にオープンした山形県産材（スギ）を使用した、木のワーキングスペース。共創の場として、子育て支援として、新しい働き方をする多様な人材の活躍の場として活用されている。

研修視察報告書

大森 勝夫



中学校統合を予定する大子町では、空き校舎を有効に活用しなければならぬ喫緊の課題がある。最善の廃校活用策を最初から採用できた事例が少ないのは、校舎の立地や地域住民の要望がそれぞれ異なるため、実施した結果から得られる住民評価を基に、改善を繰り返すほうが理に適っているからだろう。

視察地の高島町でも、統合により発生した幾つかの空き校舎ごとに、地域性を考慮した活用策を実施しな

がら試行錯誤を経て最適な事例を導き出したようだ。

高島町に注目したきっかけは、大人が学ぶ「熱中学校」が住民意識の高揚に向けた挑戦に映ったからだ。廃校に大人の学び場を創出して地域活性化を目指している壮大な行政ロマンがあるかもしれないと興味を惹かれた。

報告の内容は、施設改修で参考になる事例が多かったのでそちらを主にする。

高島町は平成28年に町内の中学校を一校に統合した。各校の立地により活用事例は異なるので、町中心部に位置する旧第四中学校の事例を報告する。

1. 体育館を屋内遊戯場「もつくる」に改修

雪国は冬の遊び場確保が必須なので、改修費7億円をかけて整備した。木の優

しさをコンセプトに、ほっこりした遊び場の空間にまとめている。体育館の大空

間の内部に、新たな建物を建設したと表現できるが、内部にいる限り、旧来の体育館の外部は全く想像できないほど、別の建物に仕上がっている。このような遊戯場は子育て世代には魅力的であり、移住検討者からすれば移住決定の理由になる施設だと感じた。

2. 校舎の一部をコワーキングスペースに利用

サテライトオフィス改修案に斬新さはないが、各種



交付金より予算を捻出し、地場産材を使った空間は魅力的に仕上がっている。床を杉板にするだけで、これほど柔らかい感触になるものなのかと驚いた。

サテライトオフィスの改修の実例は多いので、都市部からの利用者は、比較したうえで利用地を選択する。魅力的な空間づくりにより、こだわった差別化により、選ばれる場所になることが、改修の重要なポイントだと感じた。

3. 屋外運動場を住宅地として分譲

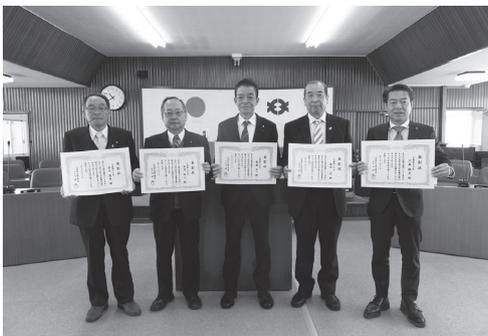
JR高島駅に近い立地を生かすため、旧校庭を宅地として49区画に分譲した。密集した市街地ではなく土地に余裕を感じられる地域でもあるため、運動場としての利用ができなくなっても、住宅地として分譲し、定住推進策を優先したのだろう。

と き あん議会の質問は今？！

今回は特別編として、大子町議会の改選からの4年間（令和2年から令和6年まで）を振り返ってみたいと思います。

思い起こせば今期の幕開けは、コロナウイルスの蔓延と台風第19号災害からの復旧復興、新庁舎の建築設計の変更などでした。

【任期：令和2年3月31日から令和6年3月30日まで】

<p>令和2年 (2020年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第37代議長 齋藤忠一 ・第33代副議長 金澤真人 ・定数2名削減 15名 ⇒ 13名 ・新人3名（うち女性議員が16年ぶりに誕生） ・常任委員会（総務経済・文教厚生） ・新たに予算・決算委員会が常任委員会として発足 ○総議決案件数 105件 [町長提出議案 101件、議員提出議案 4件] ※この年は議会から町に、コロナ禍に対する要望書を2回提出しました。 	
<p>令和3年 (2021年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水郡線袋田第6橋りょうが完成し全線再開 ・オンラインによる子ども議会が開催される ・前年開催が延期された東京オリンピック2020聖火リレーが袋田で開催される ○総議決案件数 106件 [町長提出議案 101件、議員提出議案 5件] 	
<p>令和4年 (2022年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第38代議長 金澤真人 ・第34代副議長 菊池靖一 ・トレーニングジム「フォレスポ」開設 ・木造新庁舎が完成し、役場機能が北田氣に移転 ・高梨町長再選（無投票） ○総議決案件数 92件 [町長提出議案 88件、議員提出議案 4件] 	
<p>令和5年 (2023年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第39代議長 菊池靖一 ・第35代副議長 齋藤忠一 ・議員報酬検討特別委員会の設置 ・31年ぶりに議員報酬を改定(25万円 → 31万円) ・全国町村議会議長会自治功労者表彰 在籍15年以上：(鈴木陸郎議員・金澤真人議員 ・藤田稔議員・齋藤忠一議員・大森勝夫議員) ○総議決案件数 101件 [町長提出議案 92件、議員提出議案 9件] 	
<p>令和6年 (2024年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回定例会、第1回臨時会 ・衛生センター竣工 ・議員の任期満了に伴う改選 	

令和5年第4回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

7名の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
新庁舎の黒カビ対策は	P.16	菊池 富也 議員
新築された衛生センターの管理		
町が任命、委嘱する役職の報酬等や会計年度任用職員の給与について		
まいんの予約開始日変更の検討を	P.17	福田 祥江 議員
バレルサウナの更なる推進は		
今後の図書館の在り方について問う		
森林整備を推進し花粉症対策を	P.18	飯村 剛 議員
就農移住希望者への的確な情報提供を		
思いやりを込めた案内や相談が大事では		
私有地から伸びる支障木対策は	P.19	須藤 明 議員
山岳事故防止のさらなる取組は		
特別支援学校の高等部開設の要望を	P.20	大森 勝夫 議員
ワーキングホリデー制度で人材確保を		
ふるさと納税制度の現状と経済効果は	P.21	川井 正人 議員
財源確保の手段としての広告収入等への取組は		
新庁舎周辺における改修は	P.22	藤田 稔 議員
観光施設等の管理体制は		

一般質問とは・・・



定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針等をたずねます。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をたずねることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をすることも、議員の重要な権限です。

おうちで議会を視聴しよう!

大子町では議会中継を行っていますので、スマートフォンなどを利用して自宅で議会の様子を見ることができます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご利用ください。

※一般質問者ページのQRコードから、質問者を検索することもできます。



ホームページから [議会中継](#) クリック



スマートフォンから



問 新庁舎の黒カビ対策は

答 ふき取り、洗浄を予定



菊池富也 議員

のような状況は予測できなかったのではないかと。

【総務課長】木造特有の劣化や風通しの悪い場所は、把握できなかった。瑕疵検査において、木材の強度に影響は無いとの所見があったので、今後は不定期に高圧洗浄等による洗浄を考えている。

【菊池】役場閉庁時の庁舎案内や対応が不便であるとの声が多数寄せられているが、現状と対策は。

【総務課長】閉庁時は、玄関正面は施錠している。来庁者には正面玄関の内側にあるインターホンで対応し



シミの目立つ柱

ている。インターホンの場所がわかりにくいのであれば、正面玄関がわかりやすいように案内板の設置を検討する。

【菊池】役場駐車場内での事故が多発している。また、思いやり駐車場にポールが立って利用しにくい場所がある。これらの対策は。

【総務課長】現在まで、一般来庁者の事故2件、業者の事故2件、職員による事故3件が報告されている。

業者の事故に対応するため、赤い安全ポールを設置した。街路灯への衝突を無くすため、支柱に反射シートを設置した。また、思いやり駐車場に設置したポールは、

この業者が車寄せ屋根へ衝突しないようにするための対策として設置したもので、改修の必要性については今後検討する。



駐車場スペースに設置されたポール

新築された衛生センターの管理

【菊池】今後の水害や火災に対する対策は。

【生活環境課長】水害に対しては、設置場所を久慈川から離れた場所で、地盤を2メートルかさ上げしている。火災に対しては、消防法に基づき消火器11本、自動火災報知設備、誘導標識、誘導灯（地下部分）を設置。壁面及びカーテンは、難燃材料としている。

町が任命、委嘱する役職の報酬等や会計年度任用職員の給与について

【菊池】議員報酬の値上げや町三役の給与の引き上げを検討しているが、それ以外の方、区長、班長、教育委員などの給与や報酬を上げるべきだと考えるが、町の考え方を伺う。

【総務課長】特別職の報酬は、平成4年から見直しが行われていない。また、特別職の給与については、社会情勢の変化や県内自治体の状況を調査し、改正の手続きを進めている。その他教育委員、監査委員、農業委員など非常勤の特別職に関しては、今後、検討していく。次に、区長については、人材確保等の観点から検討している。班長は、有償ボランティアであることから引き上げは考えていない。

【菊池】班長は、高齢であったり単身であったりすることなどができないのが現状である。少ない報酬で協力してくれる方々であるから再考できないか。

【総務課長】手続きの簡素化、業務の軽減で対応したい。

問 まいんの予約開始日変更の検討を

答 早急に協議していききたい



福田祥江 議員

【福祉課長】 町内のほかの施設と比べても早い時期からの予約が可能となっているが、文化ホールの利用に限って1年前からの予約開始を認めるなどの条件の変更について、管理者である社会福祉協議会と協議していききたい。

【福田】 現在の施行規則では「指定管理者が会館の管理上、支障がないと認めるときにはこの限りではない」とされているが基準が曖昧であると感ずるがいかがか。

【町長】 自分が社会福祉協議会の会長でもある。早急に担当者と話をした上で福祉課長に指示をして、是正できるものは改善していききたい。

【福祉課長】 当時の企画観光課が町内外の公共施設及び県の施設の予約開始日を参考にしたと聞いている。
【福田】 出演者への交渉や準備など、町民の利便性や施設の活用、稼働率の向上などのために、もっと早くから予約できるように変更できないか。

バレルサウナの更なる推進は

【福田】 やみぞホテル内にできたバレルサウナを見学した。雄大な大自然の中のプライベート空間でのサウナ体験に魅力を感じた。更なる推進について考えているか。

【観光商工課長】 サウナを町のコンテンツとして打ち出していく必要性を感じている。森林環境譲与税を財源とした地元産材を活用したバレルサウナ設置やサウ



大自然を感じられるバレルサウナ

ナ用薪ストーブへの補助も検討していききたい。

今後の図書館の在り方について問う

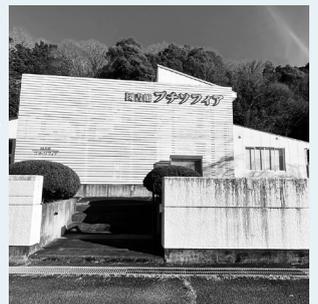
【福田】 現在の図書館は場所が分かりにくい、進入路が狭い、フリーWi-Fiが整備されていないなど課題が多い。今後の図書館の在り方についての考えを伺う。

【教育委員会事務局長】 まずフリーWi-Fiの整備を進めたい。場所については、公共施設の在り方を考えていく中で検討していききたい。

【福田】 フリーWi-Fiを整備するのであれば、館内で使えるタブレット端末を整備して図書の検索をできる体制をとれないか。

【教育委員会事務局長】 インターネットにより図書の検索ができる状況であるので、併せて検討したい。

【福田】 コロナ禍において多くの自治体で電子図書館の整備が進んだ。大子町においてではどのように考えて



図書館の改善が求められているのか。

【町長】 図書館整備の待望論は認識している。昨今の図書館は週刊誌や新聞の整備、お茶も飲めるなどで利用頻度が上がる。デジタルとの融合、位置関係、運用方法も含めて将来の展望に位置づけていきたい。

【福田】 電子図書導入は読み上げ機能や字を大きくするなど、高齢者や障がい者へのサービス向上に繋がると考える。今までの図書を大事にしつつ、ハイブリッド型の図書館の推進を希望するが。

【町長】 しつかりと精査をしながら行う問題であると認識している。現在、大きな事業が控えている中で、財源の確保にも努めていきたい。

問 森林整備を推進し花粉症対策を 答 森林湖沼環境税を活用していく



飯村 剛 議員

【農林課長】 皆伐後の植栽に対する補助金は3種類。

①意欲ある林業経営体の森林経営を集約し植栽（国県10割）、②計画認定者0.1ha以上植栽（国県68%町17%）③認定の要件満たない場合0.05%以上植栽（県40%町10%）の補助金交付で支援。

【飯村】 木材の搬出困難（道路から100m超えの森

【飯村】花粉症は多くの人々に影響を与える社会問題となっており、対策として県では利用期を迎えたスギを伐採し、花粉の少ない苗木の植え替えを行い、森林を若返らせることが花粉症の軽減に繋がるとして普及に力を入れている。大子町での人工林面積はどれくらいあるのか。

【農林課長】 民有林全体2万498haのうち1万4128haで約69%である。



搬出困難と考えられる人工林面積は、茨城県全体の約3割が大子町にある（8割以上県北地域）

【農林課長】 6140haで県全体の約30%が大子町にある。

【飯村】 伐採を行う山主の利益を確保し、森林の若返りを図るための視点から、林道整備の推進、それによる花粉症対策の取組については。

【農林課長】 作業道は県森林湖沼環境税による補助金対象で整備を実施、既設道の修繕では碎石等の資材10割補助、路網整備については引き続き国県の補助や町事業を活用して一層進めていく。今後も国県による花粉症対策の動向を見据えながら環境整備に貢献していきたい。

就農移住希望者への 的確な情報提供を

【飯村】 農地関連法の改正が施行され、下限面積要件が廃止された。概要とそれによるメリットは。

【農・委局長】 農地を取得する際に、大子町ではこれまで30aに設定してきた。改正で小さな面積でも耕作が可能になり、地域外から農業に新規参入することが容易となった。就農移住者の促進にも繋がると感じている。

【飯村】 農業に興味を持った移住希望者への情報提供はどのように行っているのか。また、空き家バンクの登録状況は。

【まちづくり課長】 町ホームページ、観光協会内相談センター、農業委員会にて空き家や農地の情報提供を行っている。利用登録者数は573件、紹介可能な登録物件数は53件でこのうち農地付きは12件となっている。



下限面積要件撤廃により、農業希望の移住者の促進に期待する

【飯村】 移住者が農地活用を頑張っていくには地域の関係者との助け合いが非常に大切。支援する取組については。

【まちづくり課長】 町は、いばらき農業アカデミー講座などの農業技術取得の支援を活用している。そして県の常陸大宮農業改良普及センターと連携し、個々の事情に応じて事業の支援制度に繋がっていききたい。また、町作成の就農パンフレットなど活用し支援メニューなど提案をしてフォロワーなどに努め、不安を抱かないうように接していきたい。

問 私有地から伸びる支障木対策は

答 住民に危険がないよう進めていく



須藤 明 議員

〔須藤〕 支障木、危険木の問合せは年間どのくらいあるのか。

〔建設課長〕 令和4年度は、町道25件、林道6件、農道1件で合計32件。令和5年度は、11月末時点で町道18件、林道6件、農道1件で合計25件となっている。

〔須藤〕 支障木は、大きくなっていくわけで問合せは増えていくものと考えられる。問合せはどのような内容か、町の指導や相談はどのように行われているのか伺う。

〔建設課長〕 倒木などで通

行に支障をきたしている通報、枝葉がカーブミラーや看板、電線等に接触しているといった通報などが多く見られる。対応方法は、町が管理する道路敷地内からの支障木や危険木は、安全な交通環境の確保の観点から職員による直営作業、または規模により専門業者へ依頼して撤去を行っている。

私有地からの支障木や危険木については、土地所有者に対し通知や指導により伐採等を依頼している。

〔須藤〕 道路の交通に危険を及ぼす竹木、工作物の存在に対応するため、道路法第44条は条例で定める基準に従い、沿道区域を指定できる旨を規定している。沿道区域を指定する目的は、道路の構造に及ぼす損害を予防し、または道路の交通に及ぼす危険を防止するた

めである。したがって、沿道区域を指定している場合には、道路管理者の判断で必要な措置を講ずることが出来るとされている。町は道路法第44条を検討する考えはあるか。

〔町長〕 支障木の問題は将来的にも重要な問題だと受け止めている。民地の問題は、なかなか法律だけで優先して通り抜けられない問題というものがああり、ケース・バイ・ケースになることもある。引き続き、住民に危険がないよう進めていく。

山岳事故防止のさらなる取組は

〔須藤〕 過去5年間の山岳事故について伺う。

〔消防長〕 平成30年度3件、平成31年度2件、令和2年

度8件、令和3年度8件、令和4年度6件の山岳事故が発生している。

〔須藤〕 10月17日、男体山健脚コースにおいて山岳事故が発生した。事故の第一報を聞いてどう思ったか。またその後の対応について伺う。

〔観光商工課長〕 消防本部と連絡を取り合い、捜索の進捗よくなど事態の把握に努めた。死亡事故が発生したことは誠に遺憾であり、御冥福を心よりお祈りしたい。10月18日に滑落事故多発中の看板を追加設置、同23日には消防本部と現地調査を実施、現場の状況や注意喚起の掲示状況の確認を行った。

〔須藤〕 以前、山岳事故の教訓を生かし町が主体となってハイキングコース事故防止連絡会を立ち上げてはどうか、との質問をした。協議した内容について伺う。

〔観光商工課長〕 山岳事故の情報交換について



危険箇所が多い男体山健脚コース

は、2回開催している。今後、引き続き山岳会の皆様、地元団体等と連絡を密にし、事故防止及び事故発生時の体制整備について、より一層、対策を図っていく。

〔町長〕 山岳コースに関する問題は、完璧な安全なものをつくるというわけにはいかない。引き続き啓発活動、関係機関と協力して大子に來る方が安全にロングトレイルも含めて楽しんでいただけるよう頑張っていく。

問 特別支援学校の高等部開設の要望を

答 生徒の声を聞いて現状把握から



大森勝夫 議員

まず、大子特別支援学校に高等部が設置されなかった経緯を伺う。

【教育委員会事務局長】開

校以前の大子町は、勝田養護学校が通学区域であり、通学が困難な状況だと寄宿舎のある学校に入学した。義務教育期間だけでも親元から通わせたいとの要望から、大子分校として開校した。その後、大子養護学校、更に、大子特別支援学校と名称が変更になった経緯から、高等部が設置されていない。

【大森】大子町の中学校統合を令和7年度に予定し、空き校舎の活用が課題となる。その対策のひとつとして、大子特別支援学校の高等部開設を県に要望し、空き校舎を使用してもらえないか。県立の特別支援学校23校のうち、高等部が無いのは大子特別支援学校と霞ヶ浦聾学校の2校だけであり、希少な事例だと解釈できる。そこで、高等部の開設を県に要望し、中学校の空き校舎の活用に結びつけることは理想と考える。

等部の開設を県にはたらかせ、あわせて空き校舎の利用を検討できないか。

【教育委員会事務局長】過

去5年間の高等部への進捗状況は、常陸太田特別支援

学校、水戸特別支援学校、水戸高等特別支援学校の各校である。大子特別支援学校の高等部開設の必要性を見極めたくて県への要望は判断していきたい。

ワーキングホリデー制度で人材確保を

【大森】総務省のふるさとワーキングホリデー制度が

特別支援学校の高等部の開設を要望してはどうか

ある。都市在住の若者が、短期間、地方に滞在し、働いて収入を得て、地域交流も深める目的の制度だ。観光業や農業の繁忙期の人材確保に応用できそうだが、適度材適所の配置マッチングに課題があると想定される。県央地域の共同窓口として「いばらき県央ワーキングホリデー事務局」がある。ここを利用できれば、事務負担が少なく制度活用ができそうだが、県北地区の大子町が利用して制度を導入することはできないか。

【まちづくり課長】いばらき県央地域移住・定住促進協議会は設立されたばかりで、同制度をいばらき県央ワーキングホリデー事務局に委託しているが、実績はまだない。同協議会に当町が参画するのは制度上困難である。人材確保については近隣自治体との連携や八溝山周辺地域定住自立圏の取組など、可能性を探っていきたい。



問 ふるさと納税制度の現状と経済効果は

答 町や事業者にとって相乗効果がある



川井正人 議員

【川井】ふるさと納税で寄附額が上がれば上がるほど、それに比例して大きな経済効果が町の関連企業や産業にも生まれる。ふるさと納税の現状と経済への効果は。

【財政課長】町のふるさと納税の現状としては、納税された方は大子町出身の方、勤務されていた方、現在勤務されている方、町との関係性が不明の方等である。町はこの11月までにポータルサイトを8サイトまで増加し、返礼品も本年10

月末に265品目まで増加した。本年度11月末では前年同月比で約40%の寄附金が増加し、町内の返礼品事業者も比例して売上げが増加している。ふるさと納税の増加は、町や事業者にとって相乗効果が得られるものと考えられる。

【川井】ふるさと納税を効果的に推進していくにあたっては、先進市町村から学ぶことが重要である。納税額が増加している市町村の取組において着目して参考にしたい点は。

【財政課長】全国的な動向としては、ふるさと納税の寄附受入額、件数とも年々右肩上がりが増加している。町のふるさと納税については、この数年、寄附受入額は横ばいで推移している。町では改善策を求め、

昨年度末に県内数件の先進自治体に訪問した。共通点としては、寄附受入額を増加させるためには返礼品数に重点を置いていると思われる。

【川井】全国1位の宮崎県都城市は、ふるさと納税額が195億9300万円。全国4位の北海道東部にあ

る人口7千人強の白糠町は148億円。寄附額が上がること、それに比例して大きな経済効果が生まれ、また特産品の広告や新たな産業の創出、育成につながる。全国16位関東では1位、寄附額が59億5千万円の境町は、ふるさと納税返礼品をきっかけに開発した干し芋が、町の産業に発展し、新しい産業の創出につながっている。ふるさと納税額の増加に向けた今後の方



ふるさと納税で町を元気に！

針は。

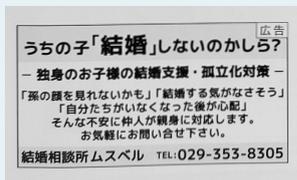
【財政課長】町としては5つの課題をもつて取り組み。1つ目は引き続きお礼の品の拡充。町内にはまだ多くの商品が存在しており、引き続きお礼の品の拡充に努めていく。2つ目に、ポータルサイトの画像の見直し。3つ目はポータルサイトでのオリジナル特集記事の掲載。4つ目として、

寄附者との継続的なつながりを確保し、町の近況を知っていただけるよう、広報誌等への提供。5つ目として、ガバメントクラウドファンディングの取組等である。

財源確保の手段としての広告収入等への取組は

【川井】町が発行する広報誌等に最大で広告を載せてもらった場合、どのくらい広告収入が上がるのか。

【まちづくり課長】記事とのバランスを考慮しない運用とした場合で、広報だいがお知らせ版の合計で152枠、広告料は136万円となり、1年間では1630万円の広告収入となる。あくまでこの金額は、記事とのバランスを考慮しない場合となるので、現実的な運用とは大幅に相違が出ることとなる。



広報だいがこの広告欄の活用を！

問 新庁舎周辺における改修は

答 障がい者駐車場の増設などを予定



藤田 稔 議員

き木づかいチャレンジ事業補助金」5千万円、地方債として「市町村役場機能緊急保全事業債」18億900万円、庁舎建設基金6億725万3千円、財政調整基金6050万1千円を活用している。

【藤田】新庁舎建設の最終的な総事業費はどの程度か。また、総事業費以外の既存施設解体費用等を伺う。

【財政課長】最終的な総事業費は約26億9300万円である。進入道路の整備、研修センタークラブハウス及び小体育館の解体費用等は約1億8060万円である。

【藤田】新庁舎建設における財源の内訳を伺う。

【財政課長】「サステナブル建築物先導事業補助金」9577万8千円、「いばら

積の比率(1・93)を乗じた新庁舎の床面積を相当した換算で比較した。電気使用量は、14・1%削減。水道料の使用量では、41・8%削減となっている。

【藤田】地方債の借入額と償還期限及び交付税措置について伺う。

【財政課長】18億900万円となる。償還期限は、事業最終年度の令和4年度借入分が最長で24年後の令和28年度までの償還となっている。交付税措置については、約5億4千万円になる。

【藤田】新庁舎の光熱費等は旧庁舎と比較してどの程度になるか。

【総務課長】新庁舎と旧庁舎では建物の規模が違うので、使用量にそれらの床面

【藤田】新庁舎周辺を含めた改修予定はあるか伺う。

【総務課長】障がい者用駐車場の増設とその区間の花壇の撤去。庁舎西側に新たな駐車枠、区画線等の設置。防災倉庫が一体活用ができるよう車道規格の路盤改良を検討している。

【藤田】し尿処理施設建設における決算見込額及び一般財源の見込額を伺う。

【財政課長】現段階での見込額は、約27億9千万円で、一般財源は4億110万円を見込んでいる。

【藤田】通常に建て替えた場合の建設費を伺う。

【財政課長】現段階での見込額は、17億1千万円程度になる。約12億7600万円の負担軽減が図れたと試算している。

【藤田】災害時の停電等の対応を伺う。

【生活環境課長】稼働が停止しても影響はないと考えられている。

観光施設等の管理体制は

【藤田】大子町特産品流通

公社の方向性について伺う。

【町長】大子町振興公社に吸収合併し、最終的には役場職員は派遣しない。

【藤田】道の駅奥久慈だいが周辺イルミネーション装飾事業の現状はどうか。事業費及び機材の所有は。また、町民参加はどの様に考えているか伺う。

【観光商工課長】楽しんで頂けていると認識している。町所有の機材とリースの両方を使い分けしている。今後も工夫して行きたい。

【藤田】袋田の観瀑施設料金所において、長蛇の列が発生する要因及び解決策は考えているか伺う。

【観光商工課長】抜本的な対策案を検討したい。

【藤田】現在の料金所及び旧料金所の改修の必要性について伺う。

【観光商工課長】現地と調整を取り進めていきたい。



利用者に寄り添った整備改修を(思いやり駐車場等)



大子清流高校1年

星 楓さん

永山 咲希さん

大子町公営塾

ことのば

大子町公営塾 ことのば 表紙に込めた想い

総撮影枚数1026枚。
大子町は創られている。
議会の決定を通じて

大子町公営塾「ことのば」塾長の平石です。今回、ことのばの活動として本誌の表紙づくりに挑戦してもらいました。そんな二人に表紙に込めた想いを聞いていきます。

—表紙に込めた想いとは。
永山…生まれ育った大子町の良さを伝えられればと思い、たくさんの方所で撮影してきました。議会を通じてたくさんの方々が町内に、町外に届くといいなと思います。

星…咲希と同じように大子町の良さを感じてもらいたいなと思いました。デザインをたき丸にしたのは大子町を象徴する身近でわかりやすいキャラクターだからです。

—大子町の良さとは
星…まずは自然が豊かであること！
永山…人と人の仲の良さ。おすそ分けなど町民とのあたたかいつながりを感じています。

—作成を通じて大変だったことは。
星…撮影場所をどこにするのか探すのが大変でした。
永山…山が多かったので同じような写真になることが多かったです。大子町の人が見ればわかることも多いのでぜひ、知っている場所を探してみてください(笑)

—表紙の出来栄はいかがでしたか。
星…思ったよりキレイにできてびっくりしました。自分が撮影した写真がこんな風になるとは想像してませんでした。

永山…私も。想像していたよりもキレイにできてよかったです。

—二人はこれから大子町にどうなってほしいですか。
永山…高齢者の方が多いので移住も含めて若い人が増えてもらえるといいなと思います。そのためこの町を好きになってもらえるように大子町の魅力を伝えていきたいです。

星…もつと若い人が喜ぶような施設が建ってほしい。例えば遊ぶ場所とか(笑)でも大子町にしかない良さもたくさんあるので大事にしてもらいたいし、みんなにも町をもつと好きになってほしいと思います。

—この活動を通じて学んだことを教えてください。
星…大子町にはいろんな魅力があります。撮影を通じて色々な場所に行き、違う空気を感じました。

永山…住んでいながら町の知らないことがたくさんありました。これから大子町についてたくさんを知ってみたいです。

大子町公営塾「ことのば」は大子清流高校敷地内の合宿所に2023年9月にオープンしました。幅広い学力に対応した学習支援、進路指導と大子町を舞台とした体験学習を行っています。インスタグラムでは活動の様子を詳しくお伝えしているのでぜひ御覧ください！



DAIGO_KOTONOBA



— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



大子西中学校 3年
ほりえ しょうた 堀江 草汰さん

私の将来の夢は電車の乗務員になることです。物心がついたころから鉄道に興味があり、大好きでした。小学校高学年までは、ただ鉄道が好きいただけでした。

しかし、2019年の台風で水郡線の橋が流された時に、日常生活における鉄道の必要性に気が付きました。鉄道は日々の生活において、私たちのことを支えてくれている

と考えると、より一層この仕事に就きたいという思いが強くなりました。職場体験学習で常陸大子駅の乗務員さんから、「仕事に対するやりがい」についてお聞きし、自分もみんなの生活を支えられるようになりたいと思いました。地域の方から気軽に声をかけていただける親しみやすい乗務員を目指し、今後も勉強を頑張ります。

移住者応援支援隊

おもしろいイベントを見つけたので紹介します。

「空き家の活用」×「夜の大子町に灯りを灯そう」をコンセプトに、常陸大子駅付近の空き家を活用した夜市が開催されました。

企画したのは「ぶく連（まんぶく連合）」という大子町に移住してきて、それぞれのお店を営む3店舗（「hajinari」、「memeguru」、「MiciruBakery」）の方です。

次の開催は「2月16日（金）」の予定ということなので、皆さんもチェックしてみてください！



FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。

放送日や時間などはFM放送等でお知らせします。



2月定例会開催予定

第1回定例会は3月に町議会選挙があるため、2月に開催する予定です。

- ▽ 2月7日（水）開 会
 - 8日（木）自 宅 審 議
 - 12日（月） ”
 - 13日（火）一 般 質 問
 - 14日（水） ”
 - 15日（木） ”
 - ▽ 16日（金） 予 算 ・ 決 算 委 員 会
 - 17日（土）自 宅 審 議
 - 18日（日） ”
 - 19日（月） 逐 条 審 議 会
- ※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会広報委員会

- 委員長 福田 祥江
- 副委員長 須藤 明
- 委員 飯村 剛
- 委員 川井 正人
- 委員 菊池 靖一
- 委員 齋藤 忠一

あ と が き

令和6年1月1日、石川県能登半島で最大震度7の大地震が発生しました。多くの方がお正月を家族と共に過ごしていたはずですが、一年の始まりを帰省した子供や孫たちと心穏やかに過ごしていたはずが、災害は時を選ばず、突然やってくるとはいえ、心が痛みます。

被災した若い方たちが、小さい頃から自分たちを守り、育ててくれた地域の人たちのために、避難所で多くの高齢者を支えていました。私たちは、災害が起きたあとの救助活動や支援のあり方、大切さを改めて考えなければならぬと感じます。大切な人を守るため、日頃から災害を想定した備え、そして行動できるようにすることが大切ではないでしょうか。

（川井 正人）